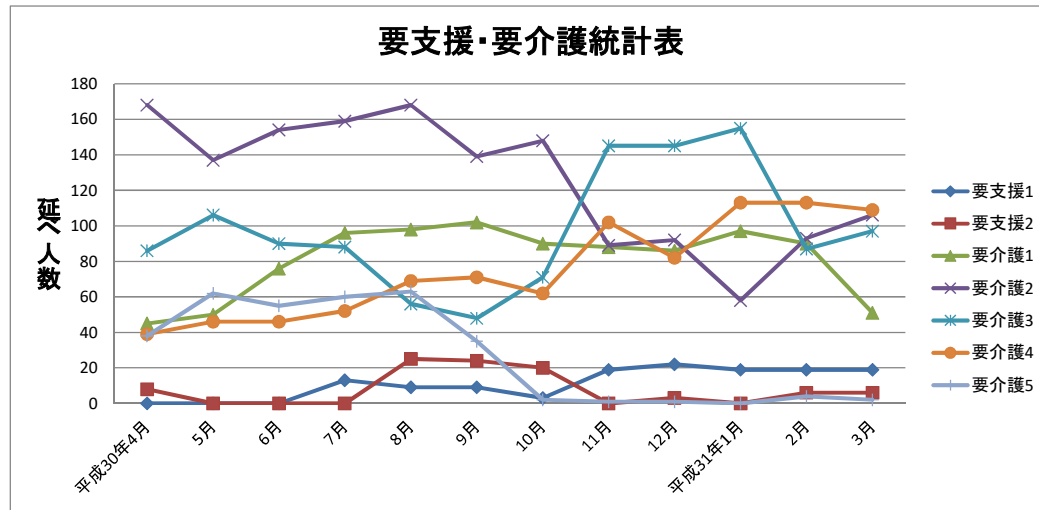


平成30年度 ショートステイ年間報告

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		月合計		月充足率	月平均介護度
	人数	実日数	人数	実日数	人数	実日数	人数	実日数	人数	実日数	人数	実日数	人数	実日数	人数	実日数		
H30.4	0	0	1	8	7	45	10	168	12	86	4	39	3	38	37	384	85%	2.6
5	0	0	0	0	5	50	8	137	11	106	6	46	3	62	33	401	86%	2.8
6	0	0	0	0	9	76	9	154	9	90	4	46	2	55	33	421	93%	2.4
7	2	13	0	0	11	96	10	159	7	88	5	52	3	60	38	468	101%	2.3
8	1	9	1	25	10	98	12	168	6	56	6	69	3	63	39	488	105%	2.3
9	1	9	1	24	14	102	10	139	7	48	6	71	2	35	41	428	95%	2.2
10	1	3	1	20	12	90	13	148	7	71	4	62	1	2	39	396	85%	2.1
11	1	19	0	0	10	88	8	89	9	145	6	102	1	1	35	444	99%	2.4
12	2	22	1	3	11	86	8	92	9	145	6	82	1	1	38	431	93%	2.2
H31.1	1	19	0	0	10	97	7	58	11	155	6	113	0	0	35	442	98%	2.3
2	1	19	1	6	15	90	8	93	8	87	7	113	2	4	42	412	98%	2.2
3	1	19	1	6	9	51	12	106	9	97	8	109	1	2	41	390	84%	2.4

年間平均充足率	最高・最低充足率	年間延べ人数	月平均利用者数	一日平均利用者数	年間平均介護度
92%	105%・84%	5105人	38人	14人	2.3



平成30年度は、年間平均充足率は92%、平均介護度は2.3という結果になった。充足率は最も高い時で8月の105%、最も少ない時で3月の84%という結果になっている。

充足率が高くなる要因はロング利用の方が月平均で4~5人程がいたことや、基本的には空床があれば受け入れを行っていたことがあげられる。一方で充足率が低かった時の要因を考えるとロング利用者の入所（岱山苑・他施設問わず）やそれに伴い、その分の空床をカバーできなかったこと。その他、定期利用者の入院などによるキャンセルがあったことも考えられる。

また、年間平均介護度は2.3ということで、平均介護度が3を上回る月はなかったが、中には全面的な介助が必要な利用者や認知面での対応が必要な方、医療面での対応が必要な方も一定数いたため、平均介護度自体は特別に高いというわけではないが、対応が難しかった部分もあった。加えて、利用者の入退所日が特定の曜日に重なることが多かったことや一日の平均利用者数（日中）は14人ということだが、月の充足率に関わらず20人近くになった日もあり、現場への負担が大きい日があったので、一概に空床があるから入所というスタンスが正解という訳ではなかったということが反省点としてあげられる。

それらを踏まえつつ、利用者や家族の希望とショートステイの体制のバランスを考えた受け入れ方が求められている。